

**患者向け説明書：不活化ポリオワクチン(IPV)** この説明書は、不活化ポリオワクチン接種を受ける方に必要な情報をまとめたものです。接種前に必ずご確認ください。

### ポリオとは

- **原因**: ポリオウイルスによる感染症。
- **感染経路**: 主に経口感染(水や食べ物を介して)。
- **症状**: 多くは軽症または無症状ですが、まれに脊髄や脳を侵し、手足の麻痺を引き起こします。
- **重症度**: 麻痺が残ることがあり、生命に関わる場合もあります。世界的には根絶に近づいていますが、流行地域も存在します。

### ワクチンの特徴

- **種類**: 不活化ポリオワクチン(IPV)。ウイルスを不活化して作られたワクチンで、感染することはありません。
- **効果**: ポリオ感染を予防し、麻痺などの重症化を防ぎます。
- **安全性**: 生ワクチン(OPV)に比べて安全性が高く、ワクチン由来ポリオのリスクがありません。

### 接種スケジュール(日本の定期接種)

- **定期接種**: 日本での定期接種は4回です。
- **未接種・接種歴不明の成人**: 4~8週間隔で2回、2回目から6~12ヶ月後に3回目を接種後、さらに渡航前に1回追加接種が推奨されることもあります。
- **定期接種済みの成人**: 規定の接種を完了していても、効果の低下(5~10年で低下)や流行状況に応じて、出発前に追加接種(1~2回)が推奨されます。WHOはポリオ発生国への渡航前には、過去の接種歴に関わらず追加接種を推奨しています。

### 副反応について

- **よくある副反応**: 注射部位の発赤、腫れ、痛み。
- **全身反応**: 発熱、倦怠感、食欲低下。
- **まれな副反応**: 強いアレルギー反応(アナフィラキシー)。

### 接種が推奨される方

- ポリオ流行地域へ渡航予定の方。
- 過去に接種を完了していない子どもや成人。

### 接種前の注意

- 発熱や体調不良がある場合は接種を延期することがあります。
- 過去にワクチンで強い副反応があった場合は必ず医師に伝えてください。
- 妊娠中・授乳中の方は医師に相談してください。

### 接種後の注意

- 接種当日は激しい運動や飲酒を控えてください。
- 注射部位の腫れや痛みは数日で改善することが多いです。

- 強い症状が続く場合は速やかに医師へ相談してください。

#### ✦ まとめ

ポリオは麻痺を残す可能性がある重篤な感染症ですが、不活化ポリオワクチン接種により安全に予防できます。定期接種の対象年齢で必ず接種を受け、世界的な根絶に向けて協力することが大切です。

この説明書は一般的な情報です。詳細は必ず医師・医療機関にご相談ください。

副反応確認のため、接種後 20 分間体調確認をさせていただきます。

帰宅後、体調の変化などがございましたら下記にお問い合わせ下さい。

秋田赤十字病院 電話 018-829-5000(代表)

平日(8:30-16:30)は予防接種センターでの対応、それ以外の時間帯は救急外来での対応となります。